

教育費	学校教育や社会教育などのために使われます	302,285円
土木費	道路・河川・住宅などの整備のために使われます	217,121円
公債費	地方債の償還に使われます	169,590円
農林水産費	農林水産業の振興のために使われます	167,370円
民生費	住民生活の安定や社会福祉のために使われます	84,479円
警察費	警察活動のために使われます	67,552円
商工費	商工業の振興のために使われます	52,998円
労働費	働きやすい環境づくりのために使われます	49,455円
衛生費	保健医療、衛生的な生活環境の確保などに使われます	52,921円
その他	災害復旧費など	158,046円
合計		1,277,255円



予算の主な内容

六月、本格予算がスタートしました。

厳しい財政事情が続きますが、「五つの鍵」を柱に、二十一世紀に向けた本県発展のしつかりとした礎を築くとともに、今年度開催されるくまもと未来国体・ハートフルくまもと大会の成功に万全を期します。

特集1

未来をひらくくまもとの五つの鍵

これからの県政の方向と平成十一年度予算(六月補正後)のあらましをお知らせします。



熊本県知事 福島謙二

夏も本番を迎えました。涼を求めて海や山に出かけられた方も多いのではないのでしょうか。

この時期、県庁では、冷房温度を二十八度に設定し、原則として上着やネクタイを着用しない「サマー・エコー・スタイル」で仕事に励んでいます。熊本独特の蒸し暑さにも適し環境にも優しいこの取り組みが、皆様の職場などにも広がることを期待しています。

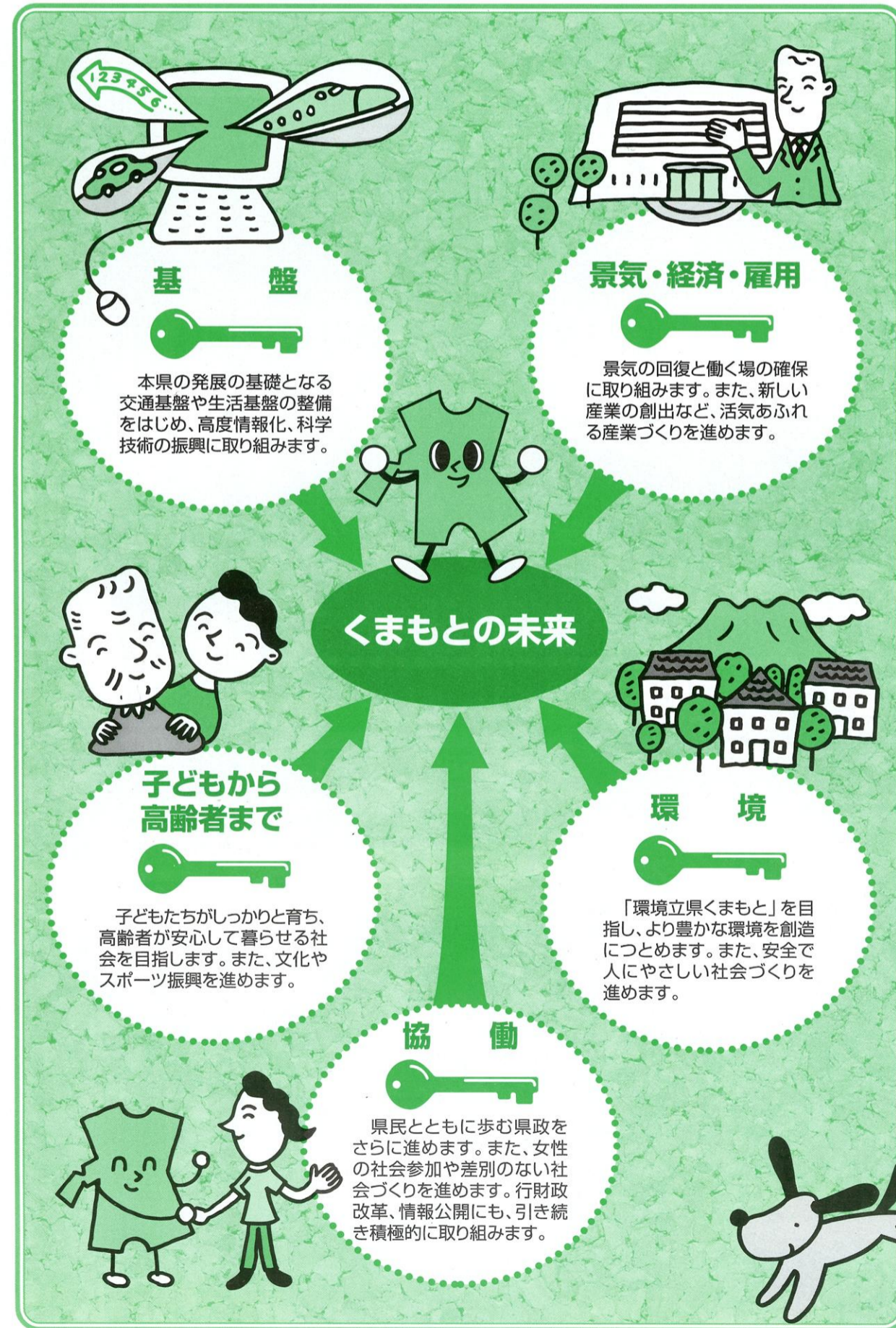
二十一世紀を目前にして、私たちは激動の時代のただ中にさしかかっています。しかし、むしろこれをチャンスとしてとらえ、新しい時代に向け積極果敢に挑戦していくことが大切だと思っています。誰もが住んで良かったと思える、「活力にあふれたくまもと」は、そうした取り組みの積み重ねの中から形作られてくるものと信じています。

特に重要な課題である「景気・経済・雇用」「基礎」「子どもから高齢者まで」「環境」を、県政の「五つの鍵」として申し上げてきました。今後は、この五つを柱として重点的に取り組んでいきたいと考えています。

先月の六月議会では、このような考え方を盛り込んだ補正予算を御承認いただき、「活力にあふれたくまもと」を具体化する新たな施策がスタートしたところであります。

県政の方向

「五つの鍵」にチャレンジしていきます。



景気・経済・雇用



景気の回復と働く場の確保に取り組めます。また、新しい産業の創出など、活気あふれる産業づくりを進めます。

基礎



本県の発展の基礎となる交通基盤や生活基盤の整備をはじめ、高度情報化、科学技術の振興に取り組めます。

環境



「環境立県くまもと」を目指し、より豊かな環境を創造につとめます。また、安全で人にやさしい社会づくりを進めます。

協働



県民とともに歩む県政をさらに進めます。また、女性の社会参加や差別のない社会づくりを進めます。行財政改革、情報公開にも、引き続き積極的に取り組めます。

子どもから高齢者まで



子どもたちがしっかりと育ち、高齢者が安心して暮らせる社会を目指します。また、文化やスポーツ振興を進めます。

景気・経済・雇用

○中小企業の経営支援として「経営支援特別資金」の貸付枠を昨年度当初予算の九倍に当たる、百三十五億円としました。

○中心市街地活性化のため、人材育成や関係機関・団体の連携を深める「二十一世紀商業・商店街活性化促進事業」を新たに実施します。

○新たな農業の構築を目指し、「変革」と「共生」を理念とする「くまもと二十一農業振興運動」を新たに展開します。

○新事業の創出を支援するため、その基本方針として「新事業創出促進構想」などを新たに策定します。

基礎



整備が進む九州新幹線

○九州新幹線の整備と併せ、鹿児島本線の連続立体交差化を含めた熊本駅周辺整備を進めます。

子どもから高齢者まで



○乳幼児の医療費助成を四歳未満までに引き上げ、多子(三人以上)世帯の子どもの入院費の助成を就学前までに延長します。

環境



○環境意識を高める場として、「くまもと県民環境フェスティバル」を開催します。

協働



男女がともに生き生きと参加できる社会へ

○男女共同参画社会の実現を目指して、新たに各地域でフォーラムを実施します。

くまもと未来国体ハートフルくまもと大会の開催

いよいよ今年度開催される、くまもと未来国体・ハートフルくまもと大会の開催に万全を期します。



「くまもと未来国体」100日前イベント